



Title	オバマの記者晩餐会（2014）におけるメタファーとジョーク
Author(s)	友繁, 有輝
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2019, 2018, p. 37-49
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/72811
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

オバマの記者晩餐会 (2014) におけるメタファーとジョーク

博士後期課程 3 年 友繁有輝

1 はじめに

本稿は、2014 年 5 月 3 日に行われたバラク・オバマの記者晩餐会での演説を次の 3 つの観点から考察する。1) メタフォリカルなジョーク (言語メタファー・イディオム) 2) メタファー使用を伴わない画像とジョーク 3) 視覚メタファー (Forceville 2008; Kress 2011; Lakoff 1980, 1987, 2002, 2014) とジョークの関連性について。本稿では、Multimodal Discourse Analysis (Kress 2011) のアプローチを元に、背景知識 (Fillmore 1982; Lakoff 1987, 2014; Waisanen 2015)、視覚情報、言語情報が上記の分析をする上で必要不可欠であることを示しながら、先行研究で見落とされていた箇所を補うことを目的とする。

2 先行研究

記者晩餐会 (The White House Correspondent's Dinner (WHCD)) の特徴として、はじめはジョークやユーモアを中心としたイベントではなくて、徐々に面白いスピーチを考案するようになった特徴があり、WHCD はワシントンにおいて最も公的でエンターテインメント性を帯びたスピーチとなった (Katz 2003)。一般的には、大統領は、私的なラジオやテレビにおいては、ジョークを話すことはあっても、公的なメディアの場ではよりシリアスな内容を伝達する (Waisanen 2015)。Waisanen (2015) は、火と煙の比喻を用いて晩餐会の性質を述べている。

- (1) The WHCD speeches demonstrate how the rhetorical capacities of presidents have been extended through jokes' enthymematic smoke, attempting to turn perceived losses into gains by creeping up to the edge of the fire—a precipice that holds the possibility for tragedy to become comedy, and vice versa, given the risk involved (Waisanen 2015).

(1) からわかるように WHCD は、大統領のレトリック能力を示すものである。そして聴衆は、ジョークの省略三段論法という考えのもと、煙のみの情報から知覚されない火の端に忍び寄ることを期待される。その火の端は、悲劇を喜劇に変えたり、逆に喜劇を悲劇に変える可能性がある。なお、省略三段論法とは大前提、小前提、結論のいずれか 1 つを自明のこととして省略した三段論法のことであり、言い換えると、フレーム (Fillmore 1982; Lakoff 1987, 2014) を喚起するシグナルとして認識する必要性を意味している。例えば、WHCD の頻出するジョークの内容として、ある団体の名称、人名、歴史 (出来事)、映画等があげられる。その中でも、視覚と言葉の使用を用いたジョークは、その両者から喚起させる様々な状況が混ざり合い、面白さを引き出している。その面白さの中には、批判、風刺、皮肉、自虐などが共存する (Speier 1998)。そういった意味で、視覚を伴うメタファーとジョークは、より認知的であり、多面的であると言えるだろう。この分析のアプローチは、Multimodal Discourse Analysis (MMDA) (Kress 2011) とも関連するが、Kress (2011)¹ の見解では、言語の分析は、全体の意味を導き出すための一部 (partiality of language) でしかない。

本稿においても MMDA の捉え方を基礎におくが、様々なモード (音楽、ジャスチャー、動画、画像、文書、レイアウト) がある中で、画像と言語のモードの分析を提示する。WHCD の分析が提示された主要な論文に Waisanen (2015) があるが、オバマの WHCD の分析では、2010 年、2011 年、2012 年の演説の一部しか取り上げられておらず、さらに視覚的要素の分析については皆無である。そのため、本稿では 2014 年²の演説を取り上げて、ジョークと視覚メタファーについて考

¹ The meaning of the maker of a text as a whole reside in the meanings made jointly by all the modes in a text. (Kress 2011: 37)

² 2014 年の演説を取り上げた理由として、Litt (2017) の中で画像を用いた際の解説が述べられており、筆者の解釈に偏ることなく分析ができると考えたからである。もう一点は、オバマ政権の目玉政策であるオバマケア中心的なテーマになっていたことに依拠する。

察し、オバマのジョークの特徴を補足することが狙いである。

3 分析手法

2014 年のオバマの WHCD の視覚を伴うメタファーを分析するにあたって、(2) に示しているように Forceville (2008: 464-466) の視覚メタファーの分類を参考にした。

(2) a. Contextual Metaphor

An object is metaphorized because of the visual context in which it is placed

b. Hybrid Metaphor

Two objects that are normally distinct entities are physically merged into a single “gestalt.”

c. Pictorial Simile

Two objects are represented in their entirety in such a way that they are made to look similar.

(2a) は、コンテキストに関わるメタファーで、視覚的なコンテキストによってもものが比喩的に感知されるものである。(2b) は、ハイブリッドメタファーと呼ばれるもので、通常は別々の物が物理的に融合して一つのゲシュタルトを作り出す。(2c) は、2つの物体が似ているように表象される直喩である。2014 年の演説で視覚メタファーが用いられているものに関しては、これらの用法を踏まえて分類をする。

「はじめに」で述べた 3 つの観点から分析するにあたり、次の手順に従った。1) 演説内の視覚を伴わないメタファーを抽出する。この場合のメタファーとは A is B で表されたものとする。2) 視覚メタファーを伴わない画像 (Kress 2011) とジョークを分析する。3) 視覚情報を伴うメタファー (Forceville 2008) を分析し、2014 年の WHCD の特徴をまとめる。

4 メタフォリカルなジョーク (言語メタファー・イディオム)

2014 年の WHCD では、直喩の使用はなく次に示すように色に関する隠喩 (イディオム) を用いたジョークが使用されていた。

- (3) These days, the House Republicans actually give John Boehner a harder time than they give me, which means orange is the new black³.

(3) の隠喩を用いたジョークを理解するためには、(1) で示したように、一般的な背景知識が必要となる。(3) においては、ジョークの理解にはジョン・ベイナー (ベイナー) がどのような人物を示すのか、そして “the new black”⁴ というイディオムの知識も必要となろう。このイディオムは、*Oxford English Dictionary (OED)* によると、突如として何かが流行したり、人気になることだと示されている。つまり、イディオムの意味と目標領域である “orange” を理解し、共和党とベイナーの関係性の知識がなければ、何を意味するのか予測するのが困難である。

その手がかりとして、筆者は 2014 年の演説を手がけたスピーチライターのデイビッド・リットの自伝書を読み、その中で関連する言葉がないか探った。すると、自伝書では “orange” は全 4 例 (“That’s not an orange”, “The presidency is not an orange”, “a bright orange business card”, “the orange card”) 使用されている。ここで一番近い用法は、“The presidency is not an orange” だと思うが、前後関係を把握しておくと、この表現が促された理由として、ABC ニュースの記者ジ

³ *Urban Dictionary* によると、“Orange is the new black”とは、2013 年にネットフリックスのオリジナルドラマのタイトルであり、2016 年にドナルド・トランプが当選した際にも、オレンジ色の顔をしたトランプが、オバマに代わって大統領になることを意味して使用された。Corpus of Contemporary American English (COCA) で、“the new black”を検索して、A is the new black の中の A の部分にどのような色が入るのかを調べると、“gold”, “brown”, “red” は使用されていたが、“orange is the new black”は検出されなかった。

⁴ **c. the new** — (and variants): designating a cultural phenomenon or trend thought to have matched the prevalence or success of the specified precursor; frequently in formula — **is the new** — **the new black**: a colour in such vogue with clothing designers as to rival the traditional role of black as a staple or background colour for garments; (*fig.*) something which is suddenly extremely popular or fashionable.(*OED*)

ジョナサン・カール (ジョナサン) がオバマの法案が通らなかったものを列挙した後に、“My question to you is: Do you still have the juice?” と尋ねたことに起因すると考えられる。ジョナサンの “juice” の使用については、山田 (2018) の翻訳では「活力」「精力」という訳が使用されていたが、*Oxford English Dictionary (OED)*、*Oxford Living Dictionaries (OLD)*、『新英和大辞典』、『ジーニアス英和辞典』によって意味を比較すると、その意味の他に適する意味が記載されていた。

表 1 juice の意味の比較と orange の慣用表現

<i>OED</i> (juice)	In figurative uses: usually denoting the essence or ‘spirit’ of something, in which its characteristic qualities are found, or which renders it useful, agreeable, or interesting.
<i>OLD</i> (juice)	North American <i>informal</i> Influence or power, especially in a political or business context. <i>‘Lucchese was involved in the case and he had a certain amount of juice around the city’</i> (https://en.oxforddictionaries.com/definition/juice)
新英和大辞典 (juice)	《口語》エネルギー、(男性的) 活力、精力 (政治的) 引き; 影響力
ジーニアス英和辞典 (juice)	《略式》活力、元気 《米俗》政治力、影響力
<i>OED</i> (orange)	to suck (also †squeeze) an (or my, the, etc.) orange: to extract all profit, vitality, etc., from something. Similarly sucked (also †squeezed) orange.

OLD、『新英和大辞典』、『ジーニアス英和辞典』には、政治的なコンテキストにおける、政治力や影響力を意味することが示されている。すなわち、“juice” とは政治的活力のことであり、単なる「活力」ではない。また、定冠詞の “the” の使用から、誰もが知るオバマの政治的影響力のことを表している。よって、ジョナサンの質問の意味することは、当選当時のオバマの影響力は 2014 年当時にあるのかどうかを尋ねている質問文だと考える方が妥当であろう。

“Orange” に話を戻すと、Litt (2017) は、“The presidency is not an orange. You could have put Mitch McConnell on a fast, a diet, a weeklong cleanse: no amount of juice was going to change his mind.” (大統領職はオレンジではない。ミッチ・マコーネルは、オバマ大統領に断食や、食事療法や、一週間にわたる体内洗浄を行わせることはできるかもしれない。だがどんな「ジュース」を持ってこようと彼の考えを変えることはできないだろう。[山田 訳]) と述べているが、なぜオレンジなのか。表 1 の最後の列の “to suck an orange” の意味を確認すると、「すべての活力や利益を引き出すこと」という意味がある。つまり “The Presidency is not an orange” (大統領職はオレンジではない) というのは、ジョナサンの質問文の “juice” にかけて、オバマのすることすべてが利益や政治的な力につながるとは限らないことを意味していると考えられる。以上の点を踏まえると、(3) の “orange” とは、メトニミーとして政治的影響力を持つ人物のことを示し、当時共和党で力を持っていたバイナリーのことを表すと言えるだろう。

さて、最終的に “Orange is the new black” の解釈はどのようになるのだろうか。色に着目すると、“the new black” の中の “black” は、掛詞として黒人大統領のオバマを示し、ドラマの中の内容を考慮すると、“orange” とは、白人を示していることは明らかであるため「白人であるはずのバイヤーは新たなアフリカ系アメリカ人の大統領である」や「白人の共和党员が新たなアフリカ系アメリカ人の民主党员になっている」という解釈が出る。(3) の文脈を考えると、批判の対象がオバマからバイナリーに推移していることを表していることがわかるため、「共和党内で影響力のある人物バイヤーがオバマに代わって批判の的になっている」となるだろう。本小節では手始めとして、言語情報のみのジョークの分析を概観したが、次小節から画像とジョークを考察する。

5 視覚メタファーを伴わない画像とジョーク

5.1 *Between Two Ferns* について

この年の演説では、オバマケアが中心的なテーマとして表れているが、保険制度を促進すべく、

オバマは *Between Two Ferns*⁵ というコメディ番組に出演し、自らの意見についてジョークを織り交ぜて伝えている。筆者は YouTube の英語字幕機能を用いて *Between Two Ferns* のシーズン 1・エピソードを視聴し、会話の中で使われているジョークを抽出した。以下のやりとりは、司会者のザック・ガリフィアナスキ (ザック) とオバマのやり取りの一例である。

表 2 オバマとザックのやりとりの例

Zack: I have to know what is it ⁶ like to be the last black president. Obama: Seriously? What's it like for this to be the last time you ever talk to a person? Zack: It must kind of stink though that you can't run, you know, three times. Obama: You know actually I think it's a good idea, you know, if I ran a third time would be sort like doing a third hangover movie. Didn't really work out very well, did it?

ザックの初めの発言は、あたかもアフリカ系アメリカ人の大統領は今後現れない想定のもとに話された内容である。その質問に対して、オバマも鋭く切り返しているところが面白い。ザックにとってこれが人と話す最後の機会だとするとどのような感じかと投げかけていることで、コメディアンとしての生命線を断つことについてどう感じるかと返答している。するとザックはその質問には直接的に返答せずに、別の発言で切り抜けている。例えば、ザックはオバマが 3 回目の出馬をするのではないかと述べているが、そのあとにオバマは、ザックが出演する映画 *Hangover* を引き合いに出して、*Hangover3* はあまり成功しなかったのだから、それと同じことであると説明している。この駆け引きは、序論でも述べたように文化的な背景知識を要するものである。おそらくアメリカ国民であれば、この映画のシリーズについては誰でも知っている前提があるため、オバマの発言は皮肉めいたジョークとして機能していることがわかる。次小節において演説でこの番組を下地にしたジョークを概観しよう。

5.2 演説内での *Between Two Ferns* に関するジョーク

2014 年の演説では、前小節で示した内容が前提となる視覚情報を伴うジョークが使用されている。(4) の内容をざっと確認すると、驚くほど早く変化するメディアの風景に皆追いつこうとしていることが述べられ、5.1 節で確認した *Between Two Ferns* に出演したことを述べて、「公平を期している」と、私は二本の植えられた植物の間でテレビ出演をした最初の人物ではない」ことを言及した後、画像 1 が提示される。

- (4) But, look, everybody is trying to keep up with this incredibly fast-changing media landscape. For example, I got a lot of grief on cable news for promoting Obamacare to young people on *Between Two Ferns*. But that's what young people like to watch. And to be fair, I am not the first person on television between two plotted plants.

画像 1 *Between Two Ferns* と関連する画像



番組のタイトルにも使用されている “fern” は、植物のシダを意味し、シダ目の植物の総称でもある。つまり、タイトルは、「2 本のシダの間に」という意味であるが、画像の中の女性を見ると、二本の木 (植物) の間に座っていることがわかる。ここで、オバマは、「私は二本の植えられた植

⁵ *Between Two Ferns* with Zack Galifianakis is a talk show hosted by comedian Zack Galifianakis which features celebrity guests. (https://en.wikipedia.org/wiki/Between_Two_Ferns_with_Zach_Galifianakis)

⁶ 文法的には “it is” が正しいと考えられるが、字幕では “is it” になっていたため元の形を保持している。

物の間でテレビ出演をした最初の人物ではない」と明言することで、発言と表示した画像をマッチさせて面白さを引き出している。このジョークを理解するためには、番組タイトルの“ferns”を植物として認識し、その番組で使用されている植物と、Fox news の木の画像 (plotted plants) を上手く結びつけなくてはならない。このジョークの理解には、オバマの保険制度、そして *Between Two Ferns* の番組内容、そしてタイトルと画像 (1) の関係性の理解が必要になるという意味で、文化に根ざしたジョークであると言える。

5.3 ヒラリー・クリントンに関するジョーク

WHCD では、著名人や政治家を話題にしたジョークを用いられる傾向がある。必ずしもすべての人を話題にしてジョークを使用するわけではないが、実際に 2014 年の演説では、様々な著名人・政治家が話題に上っていた。本稿では、ヒラリー・クリントン (ヒラリー) と、リック・ペリー (リック) に関するジョークを取り上げる。下記の画像はヒラリーの話題が上がった後に表示された画像である。

画像 2 ヒラリーに関連する画像



この画像の解釈として、山田 (2018) の注釈は、「ブッシュ大統領がイラクでの記者会見で靴を投げられた事件のパロディ」と説明している。しかしながら、演説のコンテキストを考慮した見解は述べられていない。この画像が表示される前の発言を確認すると次のようになる。

- (5) But it's a long time between now and 2016, and anything can happen. You may have heard the other day, Hillary had to dodge a flying shoe at a press conference. I love that picture.

(5) の中でヒラリーが記者会見で靴をよけなければならなかったことが述べられている。その時の画像を下記に示す。

画像 3 ヒラリーが靴を投げられた時の画像



2014 年 4 月 10 日に、ヒラリーがラスベガスで演説をしている最中に観客から靴が投げられてそれをかわすヒラリーの画像である。この光景を見た人は、文化的背景として、ブッシュ大統領がイラクで靴を投げられた会見日の 2008 年 12 月 14 日を思い起こすだろう。実際にブッシュの話題は演説でも述べられているため、ジョー・バイデン (ジョー) の画像はその両者を喚起する作用があると考えられる。バイデンの画像に関しては、Litt (2017) は、“Biden shoe ambush” (バイデンの靴の待ち伏せ) と説明しているため、画像 3 はジョーが靴を投げる準備をしている画像であり、実は犯人はジョーであったと種明かしていることになる。これは、政治の場においては何事でも起こりうることを「靴が投げられる」というイベントを通して伝達することで面白さに繋がっている。

5.4 リック・ペリーに関するジョーク

オバマは、民主党の 2010 年まで大統領補佐官であったラーム・エマニュエル (ラーム) と共

和党のテキサス州知事のリック・ペリーのしたことを対比させて、画像（主に画像の中のメッセージ）によるジョークを描写している。

- (6) Mayor Rahm Emanuel recently announced he is naming a high school in Chicago after me, which is extremely humbling. I was even more flattered to hear Rick Perry, who is here tonight, is doing the same thing in Texas. Take a look. Thank you, Rick. It means a lot to me.

民主党のエマニュエルは、オバマ政権に親和的であり実際にオバマケア成立に尽力した人物である。(6) からわかるようにオバマは彼がシカゴの高校をオバマの名にちなんで名付けたことを言及している一方で、リックは次の画像のようにテキサスの高校の前に看板を置いたことを示している。

画像 4 ペリーに関するジョーク



表 3 画像 4 の文字情報の意味と解釈

画像の中の文字情報	意味と解釈
Raging Socialist	意味：怒る社会主義者 解釈：現存の政府に対する反発
Preparatory school	意味：私立高校 解釈：ラームの政府に対する親和性とリックの反政府の態度を対比させている
Home of the “FIGHTING CHOMSKYS”	意味：「戦うチョムスキーたち」の本拠地 解釈：ノーム・チョムスキーの思想 ⁷ に賛同する人たちの活動の本拠地
BAKE SALE TUESDAY	意味：火曜日のベークセール（学校や教会で、会員が組織の資金を得るために焼いたお菓子を売る催し） 解釈：この学校に必要な資金を得る必要がある
ALL PROCEEDS WILL BE DIVIDED EQUALLY	意味：全ての収益は平等に分配される 解釈：資金は学生のために平等に分配される

画像 4 の解釈は、表 3 のようになるだろう。オバマの意図としては、おそらくリックは反政府派（オバマ政権に反発する人）が集まる場所を提供しているとジョーク使って間接的に伝え、リック自身がそのような思想を持っていることを指摘している。画像 4 の看板を立てたことに対して、オバマは “Thank you, Rick. It means a lot to me.”（ありがとう。リック。私にとっても重要なことだ。）と表面的には感謝を述べているが、それとは裏の意味を匂わせる皮肉として機能している。分かりづらい点としては、画像の中の「戦うチョムスキーたち」が何を意味しているかである。簡潔にチョムスキーが社会や労働をどのように思想を抱いているのかを認識しているのか

⁷ Pateman (2005) は、メディアはチョムスキーのことを “anarchist/libertarian, communist/anarcho-syndicalist” であると指摘しており、本人もその呼び名を承認していることを述べている。

確認しておきたい。筆者は YouTube を用いて、ミシェル・フーコーとノーム・チョムスキー (チョムスキー) の対談 “On human nature” を字幕機能を使ってチョムスキーの労働や社会について考えが述べられている箇所を検出した。以下に本文と訳を載せている。

表 4 チョムスキーの社会や労働についての見解

(チョムスキーの発言) A fundamental element of human nature is the need for creative work, for creative inquiry, for free creation without arbitrary limiting effect of coercive institutions, then, of course it will follow that a decent society should maximize the possibilities for this fundamental human characteristic to be realized. That means trying to overcome the elements of repression and oppression and destruction and coercion that exist in any existing society, ours for example, as a historical residue. Now a federated, decentralized system of free associations, incorporating economic as well as social institutions, would be what I refer to anarcho-syndicalism; and it seems to me that this is the appropriate form of social organization for an advanced technological society, in which human beings do not have to be forced into the position of tools, of cogs in the machine, in which the creative urge that I think is intrinsic to human nature, will in fact be able to realize itself in whatever way it will, I don't know the ways in which it will. (筆者訳)⁸ 人間性の基本的な要素は、恣意的で妨げとなる強制的な制度のない創造的な仕事、創造的な探求、自由な創造の欲求である。そして真つ当な社会であれば、基本的な人間の特質が発揮される機会(可能性)を最大限にすべきである。これは現存するいかなる社会にも存在する、例えば我々の社会においては歴史的残余として存在する弾圧政治、圧政、破壊、抑圧などの要因を打ち負かそうとすることを意味する。今では、社会制度・経済を織り込む自由連合の連邦分散体制こそが、無政府組合主義によってもたらされる状況だと私は考えるだろう。私にとってこれ(無政府組合主義)は進歩したテクノロジー社会にとってのふさわしい社会組織の姿であるように思える。その社会の中では、人間が機械の歯車の一つや道具として強制されることがないのである。私が人間の本性と考える創造意欲は、その社会の中では、それがどのような方法によってかはわからないが、どんな形であれ実際に実現することができるのである
--

反政府といえは聞こえは悪いが、チョムスキーによると、人民は上からの強制的な力がなくても、自らが創造力を持って生きていくべきだと主張している。それが人間の本来の姿だというわけだ。画像 4 は明らかに反政府を意識した画像であるのだが、チョムスキーの趣旨とは少し齟齬が生じることをまず指摘しておきたい。その上でリックの考えを概観しておくと、彼はオバマ政権に懐疑的であることで知られている。彼は自らのことを、アウトサイダー (outsider) かつ反ワシントン派 (anti-Washington) であると描写している (*New York Times*, Nov 18, 2011)。2011 年にオバマが出生証明書を出した後も、リックはオバマのことをアメリカ人ではないと主張して物議を醸した (*New York Times*, Oct 26, 2011)。さらにペリーの批判は続き、2014 年にオバマとテキサス州で会談した際には、メキシコの国境で何千もの子供がアメリカ国内に流入している事実を、オバマの “bad public policy” のせいにしてしている (*New York Times*, Jul 10, 2014)。なお、演説内ではリックはオバマ政権に反するいわば代表として扱われていて、オバマは画像を用いてその現状を全面に押し出し、自虐的にジョークを飛ばしていると言えよう。

6 視覚メタファーとジョーク

6.1 スローガンに関するジョーク

オバマは自らの 2008 年のスローガン “Yes, We Can.” をネタにして、次のように発言している。

(7) In 2008 my slogan was, “Yes We Can” In 2013 my slogan was, “Control-Alt-Delete”.

オバマは 2013 年のスローガンは、“Control-Alt-Delete” であることを主張しているが、なぜ “Control-Alt-Delete” なのだろうか。その理由として、コンピューターに関する視覚メタファー (映画のタイトルとコンピューターの機能停止の掛詞) が次のように使用されることが挙げられる。画像が表示される前にオバマは、“On the plus side, they did turn the launch of healthcare.gov into one of the year’s biggest movies.” と紹介している。

⁸ 翻訳の際に有益なご助言・ご指摘を下された同大学院の後藤秀貴氏に感謝いたします。勿論、翻訳の本質的な不足点は全て筆者に帰するものです。

画像 5 Healthcare.gov に関連する画像



(7) の “Control-Alt-Delete” は、メトニミーとして、リセットのことを指している。このメトニミーがユーモアを伴っている理由として、上記の画像の文字が “FROZEN” となっていることに注目されたい。この文脈では、“FROZEN” とは政府の機能不全を示し、爆発的にヒットした映画と healthcare.gov の機能不全を対比させている。実際に、Litt (2017) はこの機能不全に関して、“The Obamacare website was a mess” や、“By now Healthcare.gov’s early faults have been well chronicled” と述べて、当時ウェブサイトが上手く機能しなかったことが述べられている。よって、(7) でパソコン用語を導入し、それに伴ってパソコン用語と呼応するように画像が用いられている点がユーモアとなっている。比喩的な解釈⁹は文脈の流れによって認識されるため、Forceville (2008) の定義を借りるなら、(2a) に分類されることになるが、厳密には文脈によるメトニミーとしても機能していることになる。

6.2 オバマ政権と権力に関するジョーク

次の画像では、ジョークが視覚を伴うメタファーと共に用いられているのだが、(8) の発言の後にその画像が提示されるため、その内容から確認していきたい。

- (8) But I have not given up the idea of working with Congress. In fact, two weeks ago, Senator Ted Cruz and I, we got a bill done together. And I have to say, the signing ceremony was something special. We’ve got a picture of it I think.

(8) でオバマは、米国議会と共に働くという考えを捨てていないことを述べ、テッド・クルーズ上院議員と議案にサインしたことを示している。(8) の2週間前 (two weeks ago) というのは、2014年4月18日のことを示していると考えられ、この時にオバマは、“Expanding Eligibility for the Defense Meritorious Service Medal”¹⁰ というタイトルのもと、大統領令にサインをしている。下記の画像は、その状況を描写したものである。

画像 6 議案にサインする際のジョーク



通常聖書との関連で、地獄をイメージした絵や画像には神の怒りと関連する火 (Charteris-Black 2018) が描かれている。そのため、地獄が凍りつくことはオキシモロンの性質を示唆し、それ

⁹ 画像の背景 (氷)を考慮すると、視覚情報も関連するが “FROZEN”の文字情報が解釈には大きく影響しているため、言語的な影響が大きいことに留意する必要がある (後藤秀貴氏のご指摘に基づく)。

¹⁰ この大統領令は、1977年に出されたもので、2014年では、“any member of the Armed Forces of the United States”の後に、“or to any member of the armed forces of a friendly foreign nation.”を挿入するよう指示したものである。

はさらに共和党のデッド・クルーズの側でオバマが大統領例にサインすることの異質さを強調するものである。オバマは2014年当時の米国議会の状況について、オキシモロンを基調とした視覚メタファー<米国議会は凍りついた地獄である>によるジョークを通して、ある意味現状を鋭く客観視し、真髓をついていると言えるだろう。

6.1 節の内容を踏まえると、オバマケアに関して共和党と民主党は相反する意見を掲げているため、共に協力する姿勢を見せることが不自然にあることが前提となる。すると次の視覚メタファーもすんなりと理解できる。オバマは共和党の反対にもかかわらず、オバマケアの最初の登録で、800万人もの人が登録した実績を述べた後に次のように述べている。

- (9) Anyway, this year, I've promised to use more executive actions to get things done without Congress. My critics call this the "imperial presidency." The truth is, I just show up every day in my office and do my job. I've got a picture of this I think.

はじめの一文で、「私は米国議会の承認を得ることなく、行政権を直接行使することを約束した」と述べ、それに対する批評家がこれを、“imperial presidency”と呼んでいることを示している。その批判に対して、「本当は、ただ毎日職務を果たしているだけだ。」と発言した後に以下の左側の写真が提示される。

画像7 オバマの政権に関する画像



画像の解釈には、画像の要素がメトニミーとして権力を表していることを理解しなければならない。Litt (2017) は、アメリカの人気テレビドラマ *Game of Thrones* をイメージしてこの画像を作成したと述べている。右側の画像はジョーン・ビーンが演じる劇中のエダード・スタークを示し、劇中ではウィンターフェル公の権力ある北部総督として描かれている。画像の下に位置しているクロスボウ¹¹も、相手を威嚇する際に使用する武器であるため、大統領の権力をメトニミーとして示す一つの道具である。このように、上記の画像 (左) はオバマの権力を表しているものだが、額面通り「オバマは大統領の権力を行使している」という意味に取れるのだろうか。そうではなく、「オバマは全体主義へと向かっている」と主張する人物に向けて、あえてオバマ政権と *Game of Thrones* のハイブリッドメタファー (hybrid metaphor) を用いることで、その馬鹿げた陰謀説¹²を皮肉っていると考える方が妥当だろう。

6.3 プーチン政権に対する視覚メタファーとジョーク

次のオバマの (10)¹³ の発言は、米国の保守主義者がウラジミール・プーチン (プーチン) を慕っていることをほのめかすものであり、画像8から導き出せるメタファーと関連する。

¹¹ 石弓の一種。銃に弓を水平にとりつけた形をしており、引き金をひいて矢を発射する。ボウガン。洋弓銃。

¹² 政敵に対する陰謀説は様々あるが、オバマに関する国籍陰謀説は有名である (Waisanen 2015)。国際的なレベルでは1992年の地球サミットで採択された持続可能な開発を各国で実現するための、アジェンダ21などに対して、アメリカンポリシーセンター (American Policy Center) のDeweeseは、これを“blueprint to turn your community into a little soviet.” (あなたのコミュニティを小さなソ連に変える計画) だと述べている。

¹³ パット・ブキャナンは昨年、プーチンが「ノーベル平和賞へと直行している。」と言った。それは変に聞こえることはわかっているが、公平を期して言えば、最近ノーベル平和賞は誰にでも与えられる。だから起こり得るかもしれない。ルドルフ・ジュリアーニは、プーチンは、「いわゆるリーダーである。」と言ったし、マイク・ハッカビーとショーン・ハニティは、プーチンのむき出しの胸について話し続けているのだが、何だが変である。(筆者訳)

- (10) Last year, Pat Buchanan¹⁴ said Putin is “headed straight for the Nobel Peace Prize.” He said this. Now I know it sounds crazy but to be fair, they give those to just about anybody these days. So it could happen. Rudy Giuliani¹⁵ said Putin is “what you call a leader.” Mike Huckabee¹⁶ and Sean Hannity¹⁷ keep talking about his bare chest, which is kind of weird.

画像 8 プーチン政権に関する画像



(10) で述べられている人物にまず共通していることは、全員が保守主義だということである。この画像の分析には、色彩、場所、表情を読み取る必要がある。背景を観察すると、プーチンはハート型のポスターの中で、上半身をむき出しにしている。そのポスターの下で、3人が仲良くベッドに寝そべっている。Litt (2017) は、プーチンの剥き出しの胸に関して、次のように述べている。

- (11) Prominent conservatives had recently begun heaping praise upon the Russian autocrat, often in not-quite-unsexual terms. “I know the only time that Vladimir Putin shivers is when he takes his shirt off in a cold Russian winter,” Governor Mike Huckabee declared. (Litt 2017: 237)

(著名な保守派の政治家が最近、このロシアの独裁者をやたらと褒め立てるようになった。しかも、性的なイメージを抱かせるような言葉でだ。例えば、元アーカンソー知事のマイク・ハッカビーはこう述べている。「ウラジミール・プーチンが震えるのは、ロシアの寒い時期にシャツを脱ぐ時だけだ。」[山田 訳]

画像 8 のポスターの色はピンク色であることから、女性の部屋であることが予想でき、(11) を参考にすると、この画像は、米国を代表する保守主義を象徴する人物は、女の子がアイドルグループに抱く感情と同様の感情 (性的な意味も含めて) プーチンに対して抱いていることを意味している。つまり、視覚メタファーとして<プーチンはアイドルである>が認められ、ロシアのリーダーをアイドル化して茶化すことで、プーチンはただのアイドルであり、オバマほどの権力はないことを匂わしていると結論づけられる。以下の表は、視覚メタファーによる効果を示唆したものである。

¹⁴ Patrick Joseph Buchanan is an American paleoconservative political commentator, author, syndicated columnist, politician, and broadcaster. Buchanan was a senior advisor to U.S. Presidents Richard Nixon, Gerald Ford, and Ronald Reagan, and was an original host on CNN’s *Crossfire*. (https://en.wikipedia.org/wiki/Pat_Buchanan)

¹⁵ Rudolph William Louis Giuliani (/ˌdʒuːˈliːˈɑːni/, Italian: [dʒuˈljaːni]; born May 28, 1944) is an American politician, attorney, businessman and public speaker who served as the 107th Mayor of New York City from 1994 to 2001. (https://en.wikipedia.org/wiki/Rudy_Giuliani)

¹⁶ Michael Dale Huckabee (born August 24, 1955) is an American politician, Christian minister, author, and commentator who served as the 44th governor of Arkansas from 1996 to 2007. He was a candidate in the United States Republican presidential primaries in both 2008 and 2016. (https://en.wikipedia.org/wiki/Mike_Huckabee)

¹⁷ Sean Patrick Hannity (born December 30, 1961) is an American talk show host and conservative political commentator. (https://en.wikipedia.org/wiki/Sean_Hannity)

表 5 視覚メタファーによる効果

<画像とトピック>		<効果の推移>	
オバマの <i>Games of Thrones</i> の画像 (画像 7)	→	オバマの権力の象徴 (実際は陰謀説を唱える相手に対する皮肉)	
↓		↓	
プーチンの話題の導入	→	オバマの権力からプーチンの権力へ	
↓		↓	
プーチンの裸の画像 (画像 8)	→	プーチンの権力をアイドル化して剥奪する効果	

オバマケアの話題の導入から、共和党と民主党の意見の不一致を前景化させ、その流れでオバマ政権が全体主義に向かっているとする陰謀説を、オバマ政権と *Game of Thrones* を融合させたハイブリッドメタファー (hybrid metaphor) によって皮肉っている。オバマはその次の発言で、オバマ政権からプーチン政権に話題を移行させ、次の視覚メタファーの導入を試みている。(10) と(11)で観察したように、米国を代表する保守主義者 (パット・ブキャナン、マイク・ハッカビー、ショーン・ハニティ) がプーチンをアイドル化している画像を提示することで、プーチンに備わる権力のイメージを落とす働きがあることは明らかだろう。

7 結語

本稿は、2014 年のオバマの WHCD を視覚情報とジョークの関連から考察した。手順として、1) 視覚情報を伴わないメタフォリカルなジョーク 2) 視覚メタファーを伴わない画像とジョーク 3) 視覚メタファーとジョークの 3 つの観点から分析した。(1)で示したように、ジョークの理解には、背景知識が必要となるが、以下に分析対象やメタファーの種類と理解に必要な背景知識をまとめている。

表 6 分析対象と必要な背景知識

分析対象とメタファーの種類	必要な背景知識
1) 視覚情報を伴わないメタファー ・ "Orange is the new black"	・ ドラマ: <i>Orange is the new black</i> ・ イディオム: <i>X is the new black</i> ・ Litt (2017) の内容 ("orange"や"juice")について)
2) 視覚メタファーを伴わない画像とジョーク ・ 画像(1) (メタファーなし) ・ 画像(2) (メタファーなし) ・ 画像(3) (メタファーなし) ・ 画像(4) (メタファーなし)	・ コメディ番組 <i>Between two ferns</i> ・ オバマケア (Healthcare.gov) ・ タイトル・番組内容 ・ ヒラリー・クリントン (2014 年 4 月 10 日の事件) ・ ブッシュ (息子) (ジョー・バイデン) ・ 社会主義の考え方 ・ チョムスキーの思想 ・ ベークセール
3) 視覚メタファーとジョーク ・ 画像(5): contextual metonymy ・ 画像(6): hybrid metaphor ・ 画像(7): hybrid metaphor ・ 画像(8): hybrid metaphor	・ オバマケアに対する民主党と共和党の態度 ・ 地獄 (hell) の火や悪魔と聖書の関連 ・ テッド・クルーズ ・ オバマ政権に対する陰謀説 ・ ドラマ: <i>Games of Thrones</i> ・ クロスボウ ・ 米国議会の代表的な保守主義者 ・ プーチン

一つ目の視覚情報を伴わないメタファーは、イディオムとして定型表現となっている *X is the new black* が元となり、"Orange is the new black" が使用されていた。第 4 節において、この表現が使用されたコンテキストを考慮すると、「白人であるはずのベイヤーは新たなアフリカ系アメリカ人の大統領である」や「白人であるはず (共和党員) が新たな民主党になっている」から「白人である共和党員のベイヤーがオバマに代わって批判的になっている」という解釈が導き出せることを示した。二つ目の分析では、2014 年の演説の医療保険制度改革 (オバマケア) に関するジョー

クをはじめに取り扱い、そのジョークを理解するためには、文化的背景の理解が必要不可欠であることから、オバマが出演した *Between Two Ferns* の中でザックと交わしたジョークを提示した。なお、2014 年の演説ではこの番組の背景知識が必要となるジョークが視覚情報とともに使用されており、その理解には、番組のタイトル、内容、オバマと番組の関係性が必要となる。3 つ目の分析では、オバマ政権と権力に関するジョークを取り上げたが、オバマ政権に関するジョークでは、地獄が凍りつくイメージからオキシモロンを基調とした視覚メタファー〈米国議会は凍りついた地獄である〉によるジョークを通して、オバマは現状を鋭く描写して、笑い誘っていることを確かめた。オバマの権力に関するジョークでは、アメリカの人気テレビドラマ *Game of Thrones* のモチーフとともにハイブリッドメタファーが利用され、メトニミーとして権力を指し示していることを概観した。さらに権力の話題はプーチンに移り、視覚メタファー〈プーチンはアイドルである〉によってプーチンの権力のイメージを落とす働きがあることを明確にした。これらをまとめたものを下記に提示する。

表 7 画像と解釈

画像	説明
画像 (1)	繰り返し <i>Between Two Ferns</i> を下地にしたジョークを提示することで、オバマケアを宣伝する働き
画像 (2)	政治界では想定外のことで起こりうることの一例として提示。
画像 (3)	* 演説で使用された画像ではないが、ヒラリーが靴を投げられた時の画像。
画像 (4)	表 (3)を参照。リック (オバマ政権に反対派)に対する皮肉。
画像 (5)	自虐的に Healthcare.gov が機能しなかったことを述べてオバマケアを宣伝する働き。
画像 (6)	メタファー：〈米国議会は凍りついた地獄である〉 オキシモロンを基調として、民主党と共和党の関係性について素描 (協力関係は築けていないことを示唆)。
画像 (7)	メタファー：〈オバマはエダード・スタークである〉 メトニミーとして権力を表す。効果としてオバマ政権の陰謀説に対する皮肉。
画像 (8)	メタファー：〈プーチンはアイドルである〉 プーチン政権の権力のイメージを落とす働き。
傾向	オバマ政権に批判的な意見をあえて取り上げて紹介し、自虐的に画像などを使用して面白おかしく描写している。その結果、反する意見を茶化すことで自らの意見を伝達する効果がある。

本稿は、1) メタフォリカルなジョーク (言語メタファー・イディオム) 2) メタファー使用を伴わない画像とジョーク 3) 視覚メタファー (Forceville 2008; Kress 2011; Lakoff 1980, 1987, 2002, 2014) とジョークの関連性の分析を通して、Waisanen (2015) で不足していた視覚要素を取り入れた分析結果を補うことができた。今回の分析では、ジョークに必要な背景知識を表層的に見出す程度であったが、今後はより社会的・文化的背景を精緻に分析する必要があるだろう。なお、本稿は 2014 年の WHCD のみの分析であったため、今後は 2009 年から 2016 年の WHCD を分析対象としてオバマのジョークと視覚メタファーについてより深く理解していくことが課題である。

謝辞

本稿の執筆にあたり、有益なご助言を数多く下さった同大学院の後藤秀貴氏に、この場を借りてお礼申し上げます。

参考文献

- Charteris-Black, Jonathan. (2018). *Fire Metaphors: Discourses of Awe and Authority*. London: Bloomsbury Academic.
- Forceville, Charles. (2008). Metaphor in Pictures and Multimodal Representations. Raymond W. Gibbs, Jr, (Ed.), *The Cambridge Hand Book of Metaphor and Thought*, (pp462-482). Cambridge: Cambridge University Press.
- Fillmore, Charles. (1982). Frame Semantics. In Linguistic Society of Korea, (Ed.), *Linguistics in the morning calm*, (pp.111-138). Seoul: Hanshin.
- Katz, Mark. (2003). *Clinton & Me: A Real Life Political Comedy*. New York: Hyperion.
- Kress, Gunther. (2011). Multimodal Discourse Analysis. James Paul Gee, Michael Handford, (Ed.), *The Routledge Handbook of Discourse Analysis*. (pp35-50). London: Routledge.

- Lakoff, George and M. Johnson. (1980). *Metaphors we live by*. Chicago: University of Chicago Press.
- Lakoff, George (1987) *Women, Fire and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Lakoff, George. (2002). *Moral Politics: How Liberals and Conservatives Think*. Chicago and London: University of Chicago Press.
- Lakoff, George. (2014). *Don't Think of an Elephant: Know Your Values and Frame the Debate*. Vermont: Chelsea Green Publishing.
- Litt, David. (2017). *Thanks Obama, My Hopey, Changey, White House Years*. Harper Collins Publisher. (山田美明訳 (2018) 『24歳の僕が、オバマのスピーチライターに?!』 光文社, 東京)
- Pateman Barry. (2005). *Chomsky on Anarchism*. Edinburg, Oakland and West Virginia: AK Press.
- Speier, Hans. (1998). Wit and Politics: An Essay on Laughter and Power. *American Journal of Sociology* 103 (5): (pp1357-58).
- Waisanen, Don J. (2015). Comedy-in-Chief: Presidential Jokes as Enthymematic Crisis Rhetoric. *Presidential Studies Quarterly* 45 (2): (pp335-360).

(辞書)

Oxford English Dictionary
(<http://www.oed.com>.)
Oxford Living Dictionaries
(<https://en.oxforddictionaries.com/definition/living>)
Urban Dictionary
(<https://www.urbandictionary.com>)
Japan Knowledge Lib
『デジタル大辞泉』
(<https://japanknowledge-com>.)
『新英和大辞典』 (2013). 株式会社研究社.
『ジーニアス大辞典』 (2010). 大修館.

(コーパス)

Corpus of Contemporary American English
(<https://www.english-corpora.org/coca/>)
(その他)
<https://www.biblestudytools.com/topical-verses/hell-bible-verses/>
<https://www.americanrhetoric.com>
<https://www.youtube.com/watch?v=UnW3xkHxIEQ&t=95s>
<https://www.youtube.com/watch?v=123NdtmI09o&t=1254s>
<https://search-proquest-com.remote.library.osaka-u.ac.jp:8443/news/results/9A0512288C04576PQ/1?accountid=16714>